

防災だより 平成29年12月号

平成29年12月12日発行
愛知県立岡崎北高等学校
総務部編集

☆今回のテーマ 緊急地震速報

緊急地震速報は、地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早く知らせる情報のことです。強い揺れの前に、自らの身を守ったり、列車のスピードを落としたり、あるいは工場等で機械制御を行うなどの活用がなされています。

=緊急地震速報のながれ=



緊急地震速報を見聞きしてから、強い揺れが来るまでは **数秒～数十秒** しかない!!

⇒ 周りの人に声をかけながら「**あわてずに、まず身の安全を確保する**」のが基本。

=行動の具体例=

家庭では

- ・頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する。
- ・あわてて外に飛び出さない。
- ・無理に火を消そうとしない。



人が大勢いる施設では

- ・係員の指示に従う。
- ・落ち着いて行動し、あわてて出口に走り出さない。

屋外にいるとき

- ・街中ではブロック塀の倒壊に注意する。
- ・看板や割れたガラスの落下に注意する。
- ・丈夫なビルのそばであれば、ビルの中に避難する。

鉄道やバスに乗車中は

- ・つり革や手すりにしっかりとつかまる。



エレベーターでは

- ・最寄りの階で停止させて、すぐに降る。



参考資料：
気象庁
ホームページ